

■ボランティア委員会

「札幌南一条病院ボランティアの会」は平成19年4月に発足しました。

ボランティアは札幌南一条病院の入院・外来の患者さんやご家族、並びに全ての来院の方々に真心をもって接し、癒しとやすらぎの雰囲気を作ることにより市民に愛され信頼される病院となるよう努めます。

また、会員の方が楽しさとやりがいを実感できるように努め、活動を通じて地域社会と病院との橋渡しとなり「地域に根ざし開かれた」病院づくりを目的とします。

♪ボランティアさんから名前を募集し名前が下記に決まりました♪
札幌南一条病院ボランティアの会『ひだまり』

活動内容

- (1) 来院・入院患者またその家族への案内、誘導など
- (2) レクリエーション参加（七夕、クリスマス会、敬老会、毎月の誕生会など）
- (3) 話し相手、傾聴、本の読み聞かせなど
- (4) 車椅子の補助、移動、散歩の付添いなど
- (5) 創作（誕生カード、紙芝居、要請のあったもの）
- (6) 院内の環境整備（本・パンフレットなどの整理整頓、草木の手入れなど）

職員の皆様のご理解とご協力のもと、事故や大きな問題もなく無事に3年目を迎える事が出来ました。心から深く感謝いたします。

23名から始まったボランティアでしたが、様々な事情でやめられた方が多く、3月には13名までに減少しました。しかし、5月現在新たに9名が加わり22名で活動予定です。

21年度は、ボランティアを常時募集し（常に20名の登録者がいるよう）、午前午後とも誰かが活動しているような体制作りをしていきたいと思えます。

活動報告

活動は主に上記内容ですが、ボランティアの方々の工夫で日々充実してきています。

月1回の誕生会（6階病棟）では、ボランティア手作りの誕生カードに病棟の看護師さんがコメントを入れてお渡しし、懐かしい歌や季節の歌を一緒に歌ってお祝いしています。また、4月から三味線を弾いて下さるボランティアが加わり、今までと違った楽しさの誕生会を提供できたのではと思っています。

敬老会ではみんなで協力して作った紙芝居を披露しました。

クリスマス会では、プレゼントの買い物、ラッピング、カード作り、サンタに扮してプレゼント配布など大変でしたが、みんなで楽しみながら行ないました。

手作りでは、ベッド柵カバー、ミトンの修理や作成、透析シグナルカバー、ゆたぼん・湯たんぽカバー、ウロガード・尿瓶カバー、四角巾、気管カニューレ固定紐などたくさん作っていただきました。

これらの活動は患者さんやご家族そして職員にもとても喜んでいただきました。

又、活動日誌にボランティア自身の喜びや充実感が多く書かれており、私たちボランティア委員もやりがいや喜びを感じています。

これからも、ボランティアの「患者様に喜んで頂けるような活動をしたい」という貴重な気持ちを大切に、またボランティア自身も満足して頂けるような活動を継続していきたいと思っています。

今後も皆様のご協力どうぞよろしくお願いいたします。

院内報に毎回ボランティアだよりを掲載しています。ご参照下さい。

☆6階多田科長が退職され、高橋科長が新メンバーになりました。

【ボランティア委員会 メンバー6名】

高橋 由香（6階）、中野渡 悟（透析）、高橋 義之（総務課）、小林 恵子・奥山亜由子（MSW）
中尾（地域医療連携室）

文責 中尾 映子